



【先週 9月4日～9月10日の外食の出来事】

■幸楽苑、値上げ 中華そば、日高屋より100円高に

「中華そば」は、440円を490円に11%値上げ。「餃子極」は260円を+20円で280円に、「絶品半チャーハン」は360円を+10円で370円に、「Aランチ(選べるらーめん・餃子)」は600円を+70円で670円とする。

■ピエトロ、第1四半期(2022年4月～6月)の連結業績

2023年3月期 第1四半期(2022年4月～6月)の連結業績を発表。売上高22億6700万円(対前年同期比4.2%増)、営業損失2500万円(-)、経常損失2100万円(-)、親会社株主に帰属する四半期純損失2300万円(-)であった。

■はなまるうどん、中国から撤退 価格競争で苦戦

「はなまるうどん」が中国から撤退することを決めた。上海のはなまるうどん運営子会社を年内にも清算する。2011年に中国に進出して店舗網を拡大してきたが、現地での需要を捉えきれず徐々に採算が悪化。

■元気寿司、第1四半期(2022年4月～6月)の連結業績

2023年3月期 第1四半期の連結業績は売上高126億4400万円(対前年同期比18.0%増)、営業利益5億3800万円(-)、経常利益5億4200万円(-)、四半期純利益5億7600万円(同222.7%増)であった。

■うかい、第1四半期(2022年4月～6月)の業績

2023年3月期 第1四半期(2022年4月～6月)の業績を発表。売上高30億5900万円(前年同期比49.5%増)、営業利益1億3900万円(-)、経常利益2億3600万円(-)、四半期純利益1億4900万円(-)であった。

■くら寿司、シンボルの皿110円を値上げ 仕入れ上昇で営業赤字に

基本価格の110円と220円を、115円と165円に改定。また、1皿110円、二枚重ねて220円と皿単位の価格設定を行ってきたのを撤廃し、会計時に異なる価格帯の商品を入れても自動で正しく計算できるシステムを構築した。

■東京一番フーズ、第3四半期(令和3年10月～令和4年6月)の連結業績

令和4年9月期 第3四半期の連結業績を発表。売上高46億7900万円(対前年同期比29.2%増)、営業損失1億6200万円(-)、経常利益4億5700万円(-)、四半期純利益3億1300万円(-)であった。

■関門海、第1四半期(2022年4月～6月)の連結業績

2023年3月期 第1四半期の連結業績を発表。売上高6億3600万円(前年同期比206.2%増)、営業損失1億6000万円(-)、経常損失1億6300万円(-)、親会社株主に帰属する四半期純損失1億6400万円(-)であった。

■かっぱ寿司、税込110円を84アイテムに拡大

かっぱ寿司が、9月14日(水)より定番の一皿100円商品を30アイテム追加し、84アイテムに拡大する。同社2023年3月期 第1Q決算では、売上高168億11百万円、1.7%増だが、営業利益は3億50百万円の赤字。